

週替わりで一息!

第2014回例会 (第25版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

小寒(しょうかん)「寒の入」といわれ、これから更に寒さが厳しくなるころ。小寒から節分までの三十日間のことを「寒の内」といいます。寒が明けると立春になります。

初候「一月五日～一月九日」芹乃栄(せりすなわちさかう) 67

「芹がよく生育する」 芹が生え始める頃。芹は春の七草のひとつで、一箇所から競り合って生えていることから、芹(セリ)という名前になりました。寒入りし、一年で最も寒い時期に入り七日は日本に古くからあった風習は「若菜摘み」旧暦と新暦のズレによっても詰める草は違うので、「芹(せり)・薺(なずな)・御形(ごぎょう)ハハコグサ・繁縷(はこべら)・仏の座(タピラコ)・菘(すずな)かぶ・蘿蔔(すずしろ)ダイコン」七草そろわなくても若菜であれば十分です。

由来 正月の1日を鶏の日、2日を狗(犬)の日、3日を猪(豚)の日、4日を羊の日、5日を牛の日、6日を馬の日、7日目(人日)が節句の由来です。この日は新年になって初めて爪を切る日ともされ、七草を浸した水に指を入れ柔らかくした爪を切るとその年は風邪をひかないと言われていました。雪うさぎ

10年前の主なニュース (2006年1月1日～1月8日)

- ・ 1月5日東証大発表 1万6300円回復とあるが、10年後の大納会大納会では19年ぶりの高値で1万9000円台に。
- ・ 最低気温が6日16時46分氷点下0.7度、現在の6日は5度の予想。
- ・ 松下がプラズマ世界最大新工場。これで赤字になったのか?

「本日12月25(日)の金曜日」新入会員卓話「三十三年間ほとんど休み無く働き通した実績を持つ内容でした。」



出席報告「25年100%出席の表彰です!

担当ガバナー補佐

四つのテスト

12月22日
冬至
上弦の月

